

■地域の自活を支えるみちづくり

工業団地のどのくらいがICにスムーズにアクセスできるか？

工業団地等からICへの流通ルート確保率

[工業団地からICへの流通ルート確保率(%)=ICへの流通ルートが確保されている工業団地数/全工業団地数]

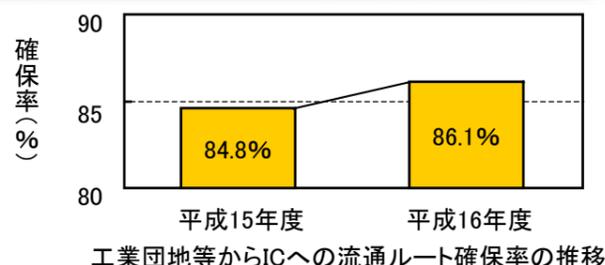
ICとの流通ルートが二車線以上の道路で結ばれている工業団地の割合。

H16目標値 86.1%

H16実績値 86.1%
(達成)

平成16年度目標値の達成状況

県道湯ノ口美祢線の供用により、平成16年度の「工業団地等からICへの流通ルート確保率」は、目標としていた86.1%を達成しました。

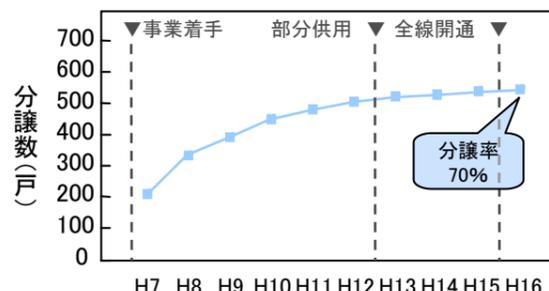
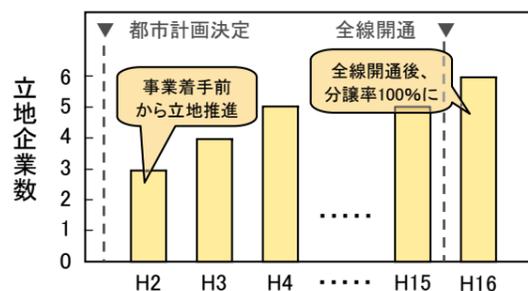


平成16年度主な事業

県道湯ノ口美祢線

美祢ニュータウン「来福台」や「美祢工業団地」と国道316号までの間には、幅員狭小区間や線形不良区間が残されており、安全で円滑な交通の確保や輸送性の向上が課題となっていました。

県道湯ノ口美祢線の供用により、美祢工業団地から中国縦貫自動車道美祢ICへの物流ルートが確保され、美祢工業団地への企業立地が進み、平成16年の全線開通後に工業団地が完売しました。また、美祢ニュータウン「来福台」へのアクセス性が向上したことにより、一般住宅の分譲数は順調に推移し、平成16年には70%に達しています。



■地域の自活を支えるみちづくり

要防災対策箇所解消率の推移

要防災対策箇所はどのくらい解消されているのか？

要防災対策箇所解消率

[要防災対策箇所解消率(%)=要防災対策箇所のうち対策を完了した箇所数/要防災対策箇所総数]

平成8年道路防災点検において要防災対策箇所として指定を受けた箇所数の解消割合。

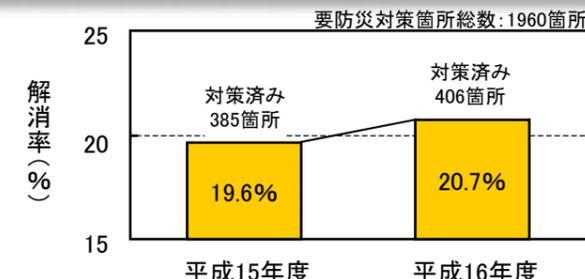
H16目標値 21.0%

H16実績値 20.7%
(未達成)

平成16年度目標値の達成状況

平成16年度の「要防災対策箇所解消率」は19.6%から20.7%に向上したものの、現地の状況に応じた工法変更等により工事期間が延長した箇所があったため、目標とする21.0%を達成することはできませんでした。

今後は、引き続き、未完了箇所の早期の完了を目指すとともに、緊急性の高い対策箇所や緊急輸送道路などの重要性の高い路線について重点的な整備を行っていきます。



要防災対策箇所解消率の推移
平成16年度未現在に施工中の10箇所が完成すると、要防災対策箇所解消率は21.2%になります。

平成16年度主な事業

国道2号(周南市富田地区)

法面崩落の危険性が高まったため、土質条件にあった安定勾配で切り土を行い、表土の風化防止のための法面緑化を実施しました。



県道岩国玖珂線(岩国市二軒屋)

法面の崩落、落石等を防止するため、吹付砕石工法、擁壁及びストンガード等による対策を実施しました。



緊急輸送道路とは...

大規模な災害が起きた場合における避難・救助をはじめ、物資の供給、諸施設の復旧等広範な応急対策活動を実施するため、非常事態に対応した交通の確保を図ることを目的として、重要な路線を緊急輸送道路として定めています。

